

学童期からの外用治療後に全身の浸出症状を経て傷が治りやすくなった成人アトピーの経過 (31 歳 成人)

症例 ID：001-30-TK2 | 記録日：2015 年 11 月 4 日

1. 診断・治療前経過

小学校低学年頃にアトピーと診断され、肘・膝内側へ外用薬を使用しました。中学期は落ち着いていましたが、高校期に再燃し、外用薬、内服薬、貼付薬を使用しました。

薬を中止すると急に悪化する状態を繰り返したため、松本医院で治療を開始されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	青色半透明の外用薬、内服薬、貼付薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小学校低学年から高校卒業後まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学校低学年	診断・外用	肘と膝内側へ外用薬を使用しました。
中学期	安定期	皮膚症状は一時的に落ち着いていました。
高校期～就職前	再燃	外用薬・内服薬・貼付薬を使用し、中止すると悪化する状態を繰り返しました。
治療開始後半年～1 年	ピーク期	大量の浸出液、全身の皮膚症状、ヒリヒリする痛みが続きました。
記録時点	改善傾向	手背の落屑は残りましたが、掻いても傷になりにくく、傷も数日で治るようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後半年から 1 年にかけて、大量の浸出液と全身の皮膚症状、ヒリヒリする痛みが続いた時期です。

5. 困りごと

- 浸出液と皮膚痛により日常生活への負担がありました。
- 手背の皮膚剥離が長く残りました。

6. 経過のまとめ

記録時点で手背の落屑は残っていましたが、掻いても傷になりにくく、傷ができて数日で治る状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。